

大河内 瞳（関西学院大学日本語教育センター）

瀬井 陽子（関西学院大学日本語教育センター）

早川 杏子（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

本授業では中級前半の文法、読解、作文に焦点を当て、1) 中級レベルに必要な文法を学習する、2) 学習した文法を使って、短い文章を読んだり、書いたりすることができるようになる、という目標を設定した。授業は1週間に3コマで、学期の前半は『中級へ行こう』から7課、後半は『中級を学ぼう中級前期』から7課取り上げた。

2. 授業内容

授業では、文法項目の説明、練習、本文の読解という順に、2コマで1課進めた。1つの課が終わるごとに、文完成や選択式練習問題等を宿題として課し、返却時にフィードバックを行った上で、クイズを実施した。

今年度の工夫として2点挙げられる。1点は本学の学習支援システム LUNA¹の掲示板を利用した活動である。まず、学生は3、4人のグループを作り、授業で学んだ文法項目の説明と例文を考え、授業外の時間に LUNA の掲示板に書き込みをする。次に、数課ごとにクラス全体で共有し、学生が考えた説明と例文のピアフィードバックを行う。この活動の目的は、学んだ内容を自分のことばでまとめることで理解を深め、自己モニタリング能力を高めること、及び多様な考え方と例文に触れることであった。もう1点は自分の意見を表現する機会を持ったことである。学生は課題として授業で扱ったテーマについての意見文を書き、授業中に内容に関するピアフィードバックを行う。そして、そこで得たコメントをもとに意見文を推敲する。これまでの文法重視の授業から、学んだことを用いて自分の考えが表現できるようになることを目指した。

3. 成果と今後の課題

上記の工夫2点について述べる。LUNA を利用した課題に関しては、アップロードした課題をクラス全体で共有し、フィードバックする方法を検討していく必要がある。自分の考えを表現する課題は一定の効果があつたと思われる。このレベルは初級から中級へのかけはしとなる重要な段階であり、今後も様々な取り組みを続けていきたい。

¹ LUNA はオンライン上で課題提出、フィードバック、テストなどが行えるシステムである。